

# 医療と介護 / 福祉の架け橋が、 命を守り・心を救う

KISA2隊 休眠預金事業 審査員 & 実行団体公募説明会



超  
連  
携

超  
法  
人

ワ  
ク  
ワ  
ク

狂  
気  
の  
連  
鎖

強  
烈  
な  
個  
性

永  
遠  
の  
青  
春



一般社団法人 KISA2隊

# いのちを守り、 心を救う



きさつたい

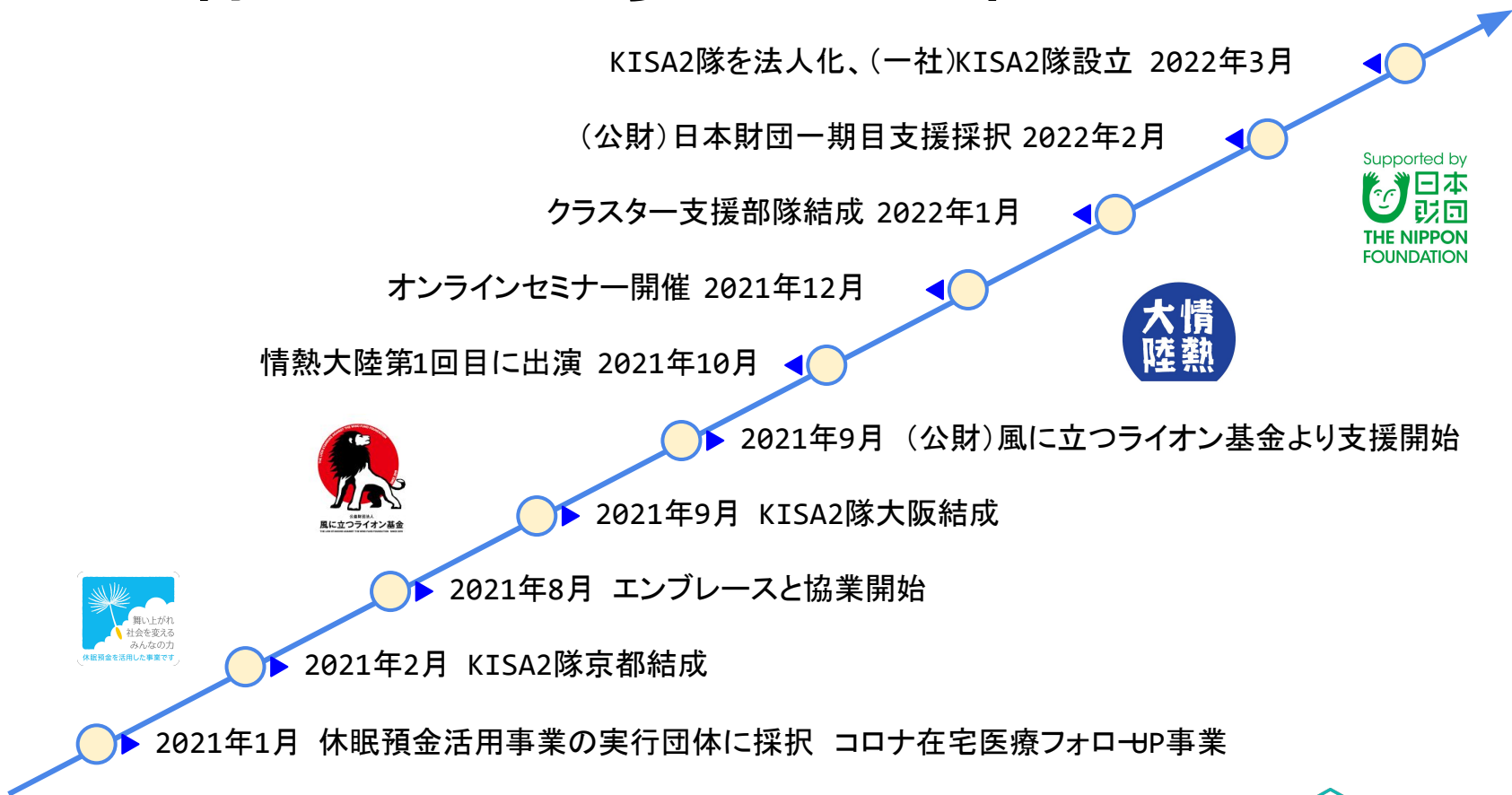
KISA2隊は、地域社会の医療課題を解決するために  
情熱と志を持って行動する、医療介護集団です



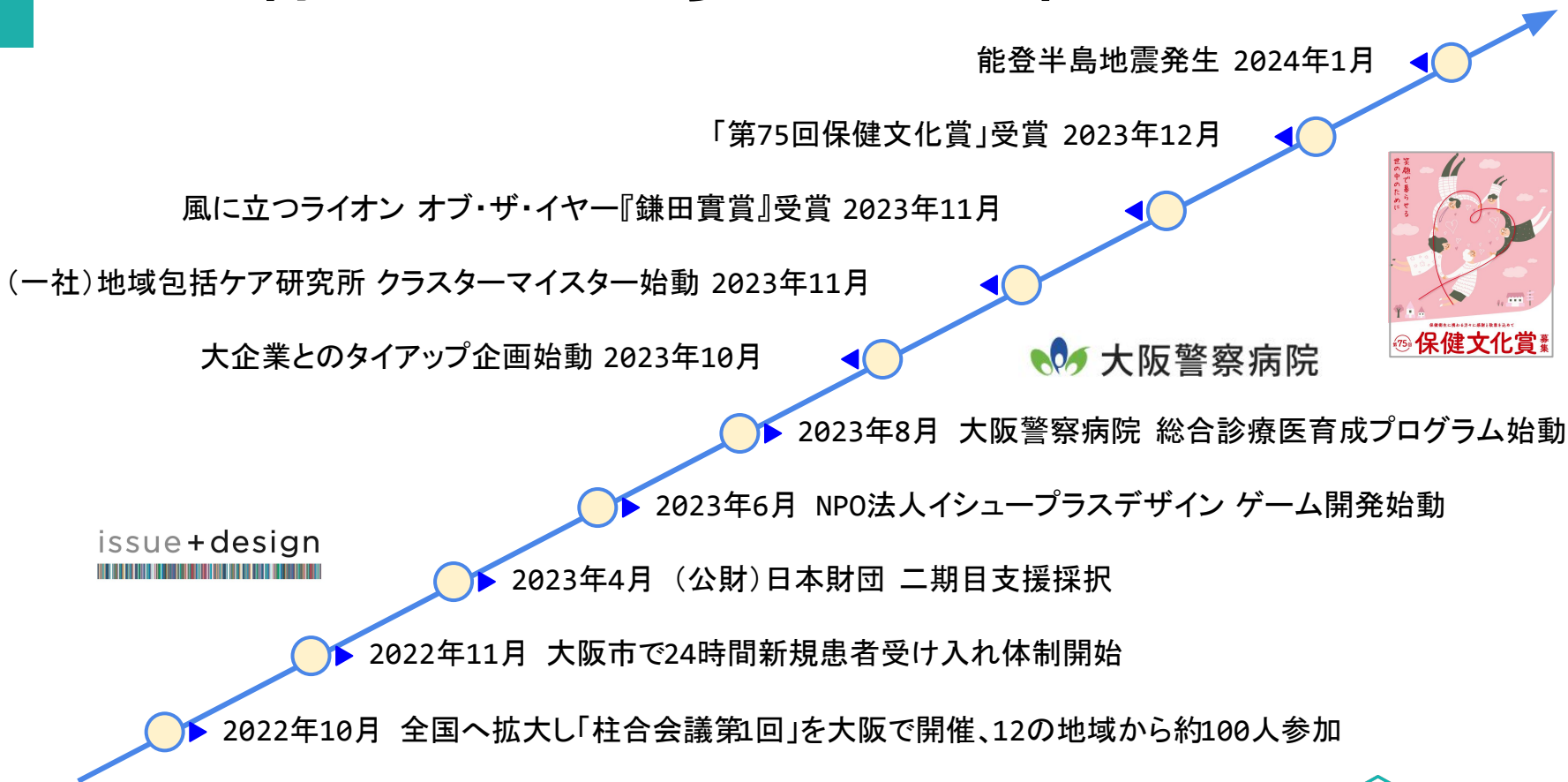
一般社団法人KISA2隊 | [いのちを守り、心を救う](#)

KISA2隊

# KISA2隊のこれまでの歩み 2021年～



# KISA2隊のこれまでの歩み 2022年～



# KISA2隊のこれまでの歩み 2024年～

総合診療領域 専門研修プログラムの認可 2024年10月

全国地域おこし地域連帯企画開始 2024年9月

オンライン災害対策研修開始 2024年9月

休眠預金等活用法に基づく資金分配団体に選定 2024年9月

介護人材育成 - 集団感染仕事人講座 リリース 2024年8月

京都府初の医療法に基づく「地域医療連携推進法人 Just2Ys League (ジャスティスリーグ)」として京都府知事より認定

2024年7月

2024年5月 「柱合会議第2回」を熊本で開催 20地域100名以上参加

2024年3月 「第4回SDGsジャパンスカラシッパ岩佐賞」【医療の部】受賞

2024年2月 約2か月の医療支援/福祉支援を終了

2024年1月 石川県穴水町への支援開始



# 受賞歴

2023年9月

「風に立つライオンオブ・ザ・イヤー」にて、KISA2隊OYAKATA・守上医師が『鎌田實賞』を受賞

2023年12月

「第75回保健文化賞」を受賞し、天皇皇后両陛下に拝謁

2024年3月

「第4回SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」(SDGs岩佐賞)にて【医療の部】を受賞





# ポストコロナの取り組み

## 超法人・超組織連携



KISA2隊は、企業、行政、医療機関をはじめとする多様な関係者と連携し、様々な事業を展開する「超法人、超組織連携」によって、地域や組織の枠を超えた協力関係を築き上げており、共通の目標に向かって、多職種が連携し、課題解決に取り組むことで、社会に大きなインパクトを与えています。

もっと見る

参考:<https://x.gd/kHcCm>

参考:<https://x.gd/N3pcG>

# 超法人・超組織連携



2024年7月地域医療連携推進法人  
Just2Ys League(ジャスティス リーグ)設立

KISA2隊は、企業、行政、医療機関をはじめとする多様な関係者と連携し、様々な事業を展開する「超法人、超組織連携」によって、地域や組織の枠を超えた協力関係を築き上げており、共通の目標に向かって、多職種が連携し、課題解決に取り組むことで、社会に大きなインパクトを与えています。

特にコロナ禍では、各地の医療人材や関係者を結集し、在宅治療の提供や災害支援体制の強化に尽力しました。今後も続々と集結する仲間たちと共に、地域社会の発展に貢献していきます。各地域での活動が一つの輪となり、より広範囲での連携へと発展していくことが期待され、地域を超えた新たな挑戦が続いています。

具体的には、民間企業とのコラボによる、在宅医療現場を支えるモノづくりプロジェクトや、過疎地における在宅体制の構築などが挙げられます。



# ポストコロナの取り組み

## 総合診療の文化醸成 – プロジェクトK2



大阪けいさつ病院KISA2隊がタッグを組み、大阪の中心で総合診療プログラムを提供します。

大阪けいさつ病院に2024年4月から総合診療科を立ち上げ、専門科と専門科の間で診療が困難なケースの対応を行い、総合診療の文化を根付かせることに取り組んでいます。

もっと見る

## 総合診療の文化醸成 – K2プロジェクト

大阪けいさつ病院KISA2隊がタッグを組み、大阪の都市部で総合診療専門研修プログラムを提供します。



大阪けいさつ病院は専門科に分化し、各々の最先端の治療と三次救急を行う災害拠点病院になります。その大阪けいさつ病院に2024年4月から総合診療科を立ち上げ、専門科と専門科の間で診療が困難なケースの対応を行い、総合診療の文化を根付かせることに取り組んでいます。

この総合診療外来では、大阪医科薬科大学・大阪大学・大阪公立大学・関西医科大学の医師とプライマリケア領域であるKISA2隊医師が担当し、その医師から診療の指導を受けることが出来ます。さらにKISA2隊医師の診療所での外来診療で家庭医療・地域医療を学ぶことが出来ます。

在宅医療で要となる多職種連携の部分においても、地域の医療介護従事者とのつながりを持つことができ、生きた医療を経験する機会があります。

# ポストコロナの取り組み

## 介護人材育成 – 集団感染仕事人講座



コロナ禍を経験した介護業界。

現場対応した多職種メンバーを中心とし、改めてクラスターというものを振り返り、本質的に必要なことは何なのか？エッセンスを詰め込んだ**集団感染仕事人講座**、2年間の時を経てリリース！

もっと見る

# 介護人材育成 – 集団感染仕事人講座

KISA2隊の数百件に及ぶクラスター支援の中で見えてきたこと- 介護現場には「完全無欠な感染対策」ではなく、仲間を否定することなく、物事を建設的に考えながら柔軟に変化できる、しなやかなチーム形成ではないか。

コロナ5類移行後、現場対応した多職種メンバーを中心とし、改めてクラスターというものを振り返り、本質的に必要なことは何なのか？ エッセンスを詰め込んだ集団感染仕事人講座2年間の時を経てリリース！



**ゲームで楽しく学ぶ「感染クラスター8」**  
ゲーミフィケーション × 感染対策  
未知のウイルスにあなたの施設はどう立ち向かう？  
ゲームで楽しく学ぶ感染症対策ワークショップ



**リーダー人材を育てる「ユークリ養成講座」**  
アフターコロナ時代の介護現場を支える  
新世代の介護リーダーを育成



# ポストコロナの取り組み

## 災害支援



コロナ禍と能登震災の2回、自前で組織を作り資金を調達して活動してきた経験と実績を活かし、スピード感と実行力、持続可能性を持って、災害時の迅速かつ効果的な復旧・復興を実現するための新たなスキームを以下の2点を軸に構築します。

もっと見る

# 災害支援

COVID-19の5類感染症移行後、培われたチームワークと熱い思いとクラスター施設支援の考え方を迫りくる大災害時の活動に活かすことはできないかという思いのなか、厚生労働省DMAT事務局に協力いただき、災害に関するKISA2隊オンラインセミナーを開催した。

- 第1回 11/24「CSCATTT」「DMAT活動戦略」
- 第2回 12/12「災害時の保健医療福祉本部の調整業務」
- 第3回 12/20「近年の実災害対応」

対象：KISA2隊メンバーおよび関係者、  
KISA2隊関連の保健所の方々

KISA2隊  
主催 一般社団法人KISA2隊

## DMATによる 災害支援オンライン研修会

2023年 11月24日(金) 12月12日(火) 12月20日(水)

全3回 20時～21時 開催

司会：小林 正宜 (KISA2隊大阪隊長)

参加  
無料

### SPEAKER



矢嶋 祐一先生  
施設長  
国立保健福祉本部  
DMAT事務局

11月24日(金) 20時-21時  
CSCATTT、DMAT活動戦略



松田 宏樹先生  
施設長  
国立保健福祉本部  
DMAT事務局

12月12日(火) 20時-21時  
災害時の保健医療福祉本部の  
調整業務



若井 聡智先生  
施設長  
国立保健福祉本部  
DMAT事務局

12月20日(水) 20時-21時  
近年の実災害対応

オンライン参加はこちらのQRから！  
皆様の積極的な参加を心よりお待ちしております。





## 現在のKISA2隊の活動

2023年5月にCOVID-19の5類移行を経て、KISA2隊は現在までに構築した連携体制・志を維持しながら「地域で困っている人の助けになりたい」といった初期の目的に集い、地域の患者さんや社会的弱者の方々を地域医療・介護で守る体制づくりと、在宅医療スキームの構築に取り組んでいます。

地域の人々が安心して暮らし、保健・医療・介護の垣根を越えて助け合えるための架け橋になる。それが、これからのKISA2隊が目指す未来です。



- 超法人・超組織連携
- 総合診療の文化醸成－K2プロジェクト
- 介護人材育成－集団感染仕事人講座
- 災害支援

# 災害支援

令和6年1月1日16:10

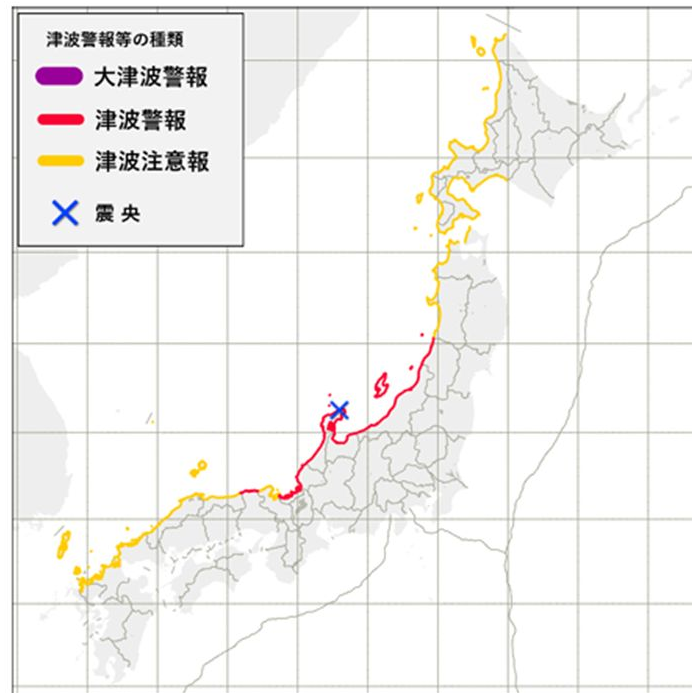
震源:石川県能登地方(北緯37.5度、東経137.3度)

規模:マグニチュード7.6(暫定値)

各地の震度(震度5強以上)

震度7	石川県	志賀町、輪島市
震度6強	石川県	七尾市、珠洲市、穴水町、能登町
震度6弱	石川県	中能登町
	新潟県	長岡市
震度5強	石川県	金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、能美市、宝達清水町
	新潟県	新潟中央区、新潟南区、新潟西区、新潟西蒲区、三条市、柏崎市、見附市、燕市、糸魚川市、妙高市、上越市、佐渡市、南魚沼市、阿賀市、刈羽市
	富山県	富山市、高岡市、氷見市、小谷部市、南砺市、射水市、舟橋村
	福井県	あわら市

1月1日20時30分発表



# 災害支援



1月8日(月)に京都・秋田・大阪+本部事務局のメンバー合計6名で初めて現地入りし、石川県の保健医療福祉調整本部の指示のもと石川県穴水町に入り、高齢者福祉施設のアセスメントや医療支援などを実施しました。

保健所・地域のケアマネージャーと協力し、避難所や個人宅にいらっしゃる避難者の方への様々な形でのサポートを行いました。

出勤日時:2024年1月8日(月・祝)~2月29日(木)

派遣隊員:59名(医師9名、看護師21名、介護士5名、理学療法士4名、介護福祉士1名、薬剤師2名、業務調整員7名)

現地活動期間:令和6年1月8日(月・祝)から令和6年2月29日(月)

派遣先:石川県穴水町 保健医療福祉調整本部

# 現地で見た課題1：医療・介護 / 福祉をつなぐ支援の不足



## 医療・介護・福祉の混成チームには 災害救助法による費用支弁されない現実

- ✓ 前例がないので支払い不可能という回答
- ✓ 結果、必要経費はKISA2隊の全額自己負担  
(一部は後日に寄付金を募ってまかなう)
- ✓ 支援者(医師、看護師、介護士、介護福祉士、等)は  
全員、無償のボランティア



行政としての公的な支援は  
まだまだ手薄な状況

## 現地で見た課題2: 地域の受援力の不足

行政に災害時要配慮者のリストがない or 共有されない

- ✓ 電話をかけて1軒ずつ安否確認をする。
- ✓ 電話が繋がらない場合、実際に訪問するので全体把握に非常に時間がかかる。
- ✓ 紙ベースのリストは存在するが、事務所が被災して取りに行けない。
- ✓ 電子データのリストが存在するが、自宅からアクセスできず見れない。
- ✓ 個人情報支援者に提供してよいか判断できない。



迅速な支援ができない、情報がないので動きたくても動けない。

## 現地で見た課題2: 地域の受援力の不足

### 地域の診療所に外部支援を受け入れる体制がない

- ✓ 受援体制(自分たちが支援を受け入れる側になった場合の準備や計画)が整備されていない  
(診療所のやり方をいちいち支援者に説明できない)
- ✓ 患者情報や診療録が紙で保存されていたが、建物の倒壊で参照できなくなった  
(電子化やバックアップがない)
- ✓ スタッフと連絡が取れない、医師以外のスタッフのフォロー体制がない
- ✓ 診療所単体で機能を維持できなくなった際、SOSを発信する先が決まっていない
- ✓ 意思決定フローがないため、とっさの判断ができず、外部に任せることができない  
(途切れた時の不安、患者を任せる不安、診療報酬の請求に関する不安等)



医師や医療関係者が支援に来ても、出来ることがない



# 災害時保健医療福祉活動タイムライン

フェーズ0 (超急性期)			フェーズ1 (急性期)	フェーズ2 (亜急性期)	フェーズ3 (慢性期)	フェーズ4
～3時間	～12時間	～24時間	～72時間	～3週間	～3か月	～3年～
発災初動期			緊急対応期	応急対応期		復興期

保険医療福祉調整本部の立ち上げ → 定時会議の調整

救命救急・外傷治療等      慢性疾患の治療継続      保険診療

避難所等での健康支援(保健予防・生活環境等)

在宅被災者への健康支援(保健衛生・医療)

DHEAT

災害医療コーディネーター

地域DMAT      日本DMAT      DMATロジチーム      CoST

JMAT      地元医師会

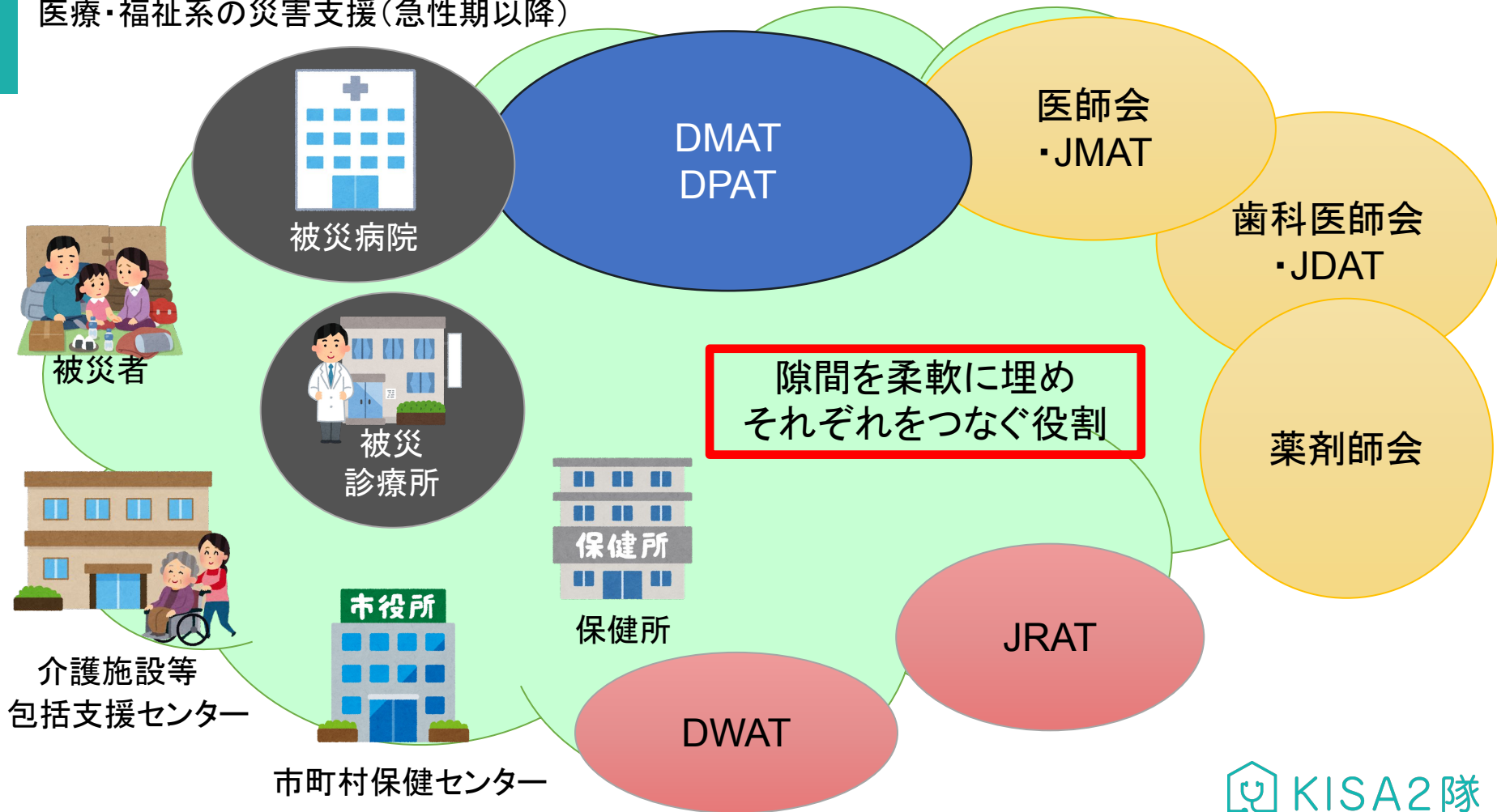
DPAT

JRAT

DWAT

KISA2隊

医療・福祉系の災害支援(急性期以降)



## 事業概要

1. 災害時の受援力を高めるための地域 BCP(連携型BCP)の策定
2. 災害時に分断されてしまう医療・介護・福祉の橋渡しができる、組織と人材の育成
3. 持続可能な組織体制の強化

## 地域の受援力 × 多職種連携のチームを全国に広げる



最初は限定的な地域でも  
周りの地域を巻き込んでいくことにより  
災害に強い地域が全国に広がっていく

# 公募概要

## 助成期間

- 2025年4月～2028年2月。

## 助成金額

- 1団体あたり、3年間で最大3,300万円程度。

## 採択予定団体数

- 4団体(できれば、北日本・中部・東日本・西日本に分散するのが望ましい)。

# 事業期間終了後に目指すゴールと成果（2028年頃）

## 1. 多職種連携と情報共有の強化

- 多職種連携プラットフォームが構築され、関係者のコンタクトリストが整備される。
- 情報管理ツールが運用され、平時からの情報共有と災害時の活用が可能となる。

## 2. 人材育成とスキル向上

- 専門職員や関係機関の災害対応スキル向上を目指し、研修会や事例検討会を開催。
- 支援人材のコンタクトリストを整備し、迅速な対応を実現。

## 3. BCPの策定

- 地域BCP（連携型BCP）が策定され、関係機関との連携が進んでいる。

## 4. 資材備蓄と連携訓練の実施

- BCPに基づく合同訓練とシミュレーションを実施し、災害時の連携体制を強化する。
- 必要資材の備蓄と補充体制が構築される。



# 中長期に目指すゴールと成果（2030年頃）

## 1. 災害に強い地域の構築

- 地域BCP（連携型BCP）の策定を通じ、行政、医療機関、介護/福祉施設などの関連機関が平時から連携し、災害時には迅速かつ効果的に支援を受け入れる対応力と受援力を備えた地域へと成長している。

## 2. 一貫した支援体制の実現

- 多職種チームが、急性期には医療支援を提供し、慢性期には福祉・介護・生活ニーズに応じた、シームレスな支援を行いながら被災地に伴走し、地元のリソースへの円滑な引き継ぎを可能にしている。これにより、早期復旧と復興が促進される。

# 地域BCPと連携型BCPの違い

両者とも災害発生時に「迅速な復旧」「被害の最小化」を目指すという点では共通しているが、対象範囲や目的が異なる。今回の事業において、連携型BCPは、地域BCPを目指す過程として捉えている。

## 地域BCP

地域全体で災害に備えるための計画。医療・介護/福祉事業者だけでなく、自治体や地域内の組織、企業、住民が連携して、地域の機能を維持・回復することを目的とする。

## 連携型BCP

個々の企業や組織が災害時にも業務を継続または早期復旧するために、他の企業や団体、時には医療圏を超えた連携しながら策定する事業継続計画。

項目	地域BCP	連携型BCP
対象範囲	地域全体(公共インフラ含む)	個別の企業や組織
目的	地域の社会基盤の維持・復旧	業務の継続と早期復旧
主体	自治体や地域住民	企業・組織間の連携
重点分野	防災・減災、インフラ復旧	事業継続、サプライチェーンの維持

# 中長期的なゴールと成果(2030年頃)



# 全体のスケジュール(仮)

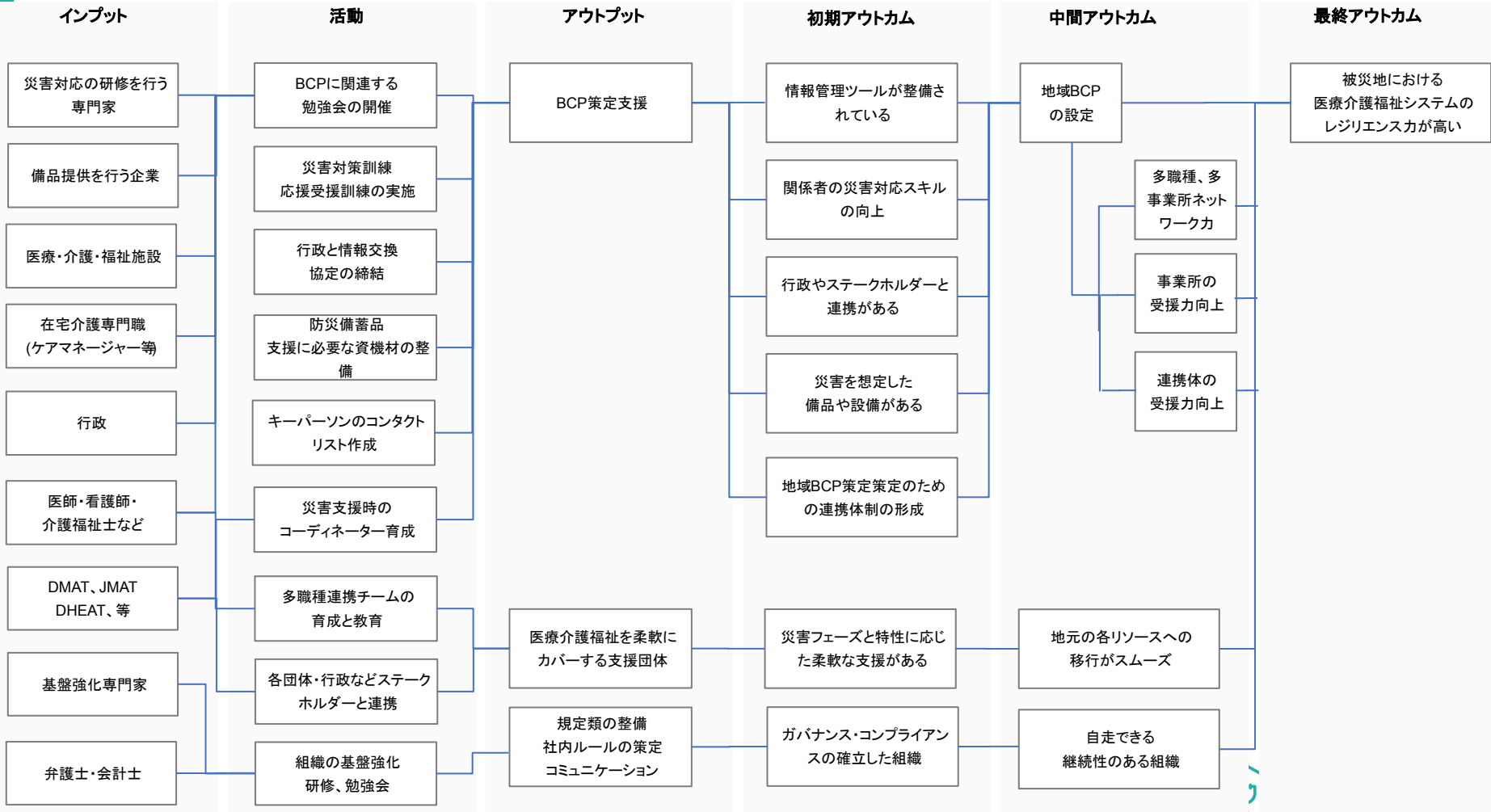
- ▲：実行団体が提出する書類
- ：資金分配団体が提出する書類

※現時点での見込です。今後、変更が生じることもございます。



※助成金申請・受領のみ、提出時期を記載。詳細は「精算の手引き」をご覧ください。

この他、月次等で実施いただくことがあります。(月次面談、経費精算報告資料等の提出)



# 実行団体に応募するにあたり必要な条件

1. 国内の民間の非営利組織  
(一般社団法人、NPO法人、社会福祉法人、任意団体など)であること。※
2. 多職種連携の構築経験、活動実績があること
3. 財源の性質上、ガバナンス・コンプライアンス体制を満たしている団体であること、または満たすことができる団体であること
4. 事業総額の20%を自己資金で負担可能であること
5. 当事業に依存しない出口戦略が明確に示されていること

※選考に際しては法人格取得済み、または取得予定の団体を優先します。

※任意団体の場合は、任意団体名義の口座開設が必須です。



# 優先的に採択する団体像

1. 国内の民間の非営利組織

(一般社団法人、NPO法人、社会福祉法人、任意団体など)であること。

2. **多職種連携の構築経験、活動実績があること**

3. 財源の性質上、ガバナンス・コンプライアンス体制を満たしている団体であること、または満たすことができる団体であること

4. 事業総額の20%を自己資金で負担可能であること

5. **当事業に依存しない出口戦略が明確に示されていること**

短時間で築くことができない、顔の見える関係や信頼・関係者とのつながりは、大きな資産であり、ここをベースにBCPを構築できる組織を歓迎する。

また、休眠預金事業は、一時的な資金提供に留まらず、助成を通じて持続可能で継続的な社会課題解決の仕組みを構築することが求められるため、終了後に具体的な活動計画をもつ団体を優先的に採択する。

# 公募概要・スケジュール

## 提出書類

- 申請書、役員名簿、登記事項証明書など

## 公募期間

- 2024年12月20日(金)～2025年2月10日(月)17時まで ※時間厳守

## 説明会

- オンライン事前説明会 2025年1月10日(金) 19時～20時30分
- オンライン個別相談会 2025年1月10日(金)～2025年2月7日(金)

## 審査スケジュール

- 一次審査:2025年2月末
- 二次審査:2025年2月末～3月中旬 / 現地訪問による面談
- 三次審査:2025年3月下旬
- 採択通知:2025年4月上旬

# 連絡先

ご不明な点がございましたら、メールでご質問を受け付けております。  
今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 KISA2隊

〒615-8074 京都市西京区桂南巽町 154-3 ホッホラントビル

休眠預金活用事業 担当: 石田

Email: [kyumin@kisa2tai.com](mailto:kyumin@kisa2tai.com)

# 個別相談会



<https://forms.gle/K6DXHhT7i3mQZX9G7>

 KISA2隊